

# 大分県リハビリテーション支援センター活動報告 および地域リハビリテーション関連活動報告

## <記載項目>

1. 平成 28 年度大分県リハビリテーション支援センター活動のまとめ
2. 平成 28 年度実施事業の詳細
3. 大分県における災害リハビリテーション支援体制の構築と実績報告
4. おおいた食のリハビリテーション研究活動報告

# 1. 平成 28 年度 大分県リハビリテーション支援センター活動のまとめ

1. 由布市 リハ職派遣 事業所実地支援事業
  - 1) ごとう医院通所リハビリテーション 講師派遣 8 回 (OT 大田<sup>繁</sup>)
  - 2) すぎた福祉サービスセンター 講師派遣 8 回 (PT 佐藤<sup>周</sup>)
2. 由布市保健部圏域介護予防検討会  
平成 29 年 3 月 15 日 (水) OT 佐藤<sup>友</sup>
3. 由布市地域包括ケア推進協議会 出席者 5 名
4. 由布市地域包括ケア推進協議会研修会  
「在宅歯科ができること」  
平成 28 年 11 月 22 日 (火) (DH 三ノ宮)
5. すこやか健康サロン  
4 地区 計 13 回実施 講師派遣のべ 18 名
6. 由布市 健康応援団派遣事業
  - 1) 予防 計 10 箇所にて実施 講師派遣のべ 10 名
  - 2) 症予防 計 13 ヶ所にて実施 講師派遣のべ 13 名
7. 由布市社会福祉協議会 湯布院事務所
  - 1) 実地支援 計 5 回実施 講師派遣：OT 足達、OT 佐々木、PT 本村
  - 2) 研修会「生活機能アセスメントについて」  
平成 28 年 9 月 20 日 (火) 講師：OT 佐藤<sup>友</sup>
8. 豊肥圏域地域リハビリテーション広域支援センター研修会
  - 1) 「大分県における災害リハビリテーション支援体制構築に向けて」  
OT 佐藤<sup>友</sup>  
「熊本地震における南阿蘇村での大分 JRAT 活動報告」  
OT 郷司  
平成 28 年 12 月 20 日 (火)
  - 2) 「実践しよう！生活行為向上リハビリテーション」 OT 佐藤<sup>友</sup>  
平成 29 年 2 月 24 日 (金)
9. 由布市サービス事業所研修会
  - 1) 専門職派遣事業実践報告  
派遣先：デイサービスセンター長宝 PT 河野  
庄内社協ほのぼの OT 梅木  
日時：平成 28 年 7 月 27 日 (水)
  - 2) 「生活機能評価：ADL・IADL のアセスメントと生活機能向上支援プログラム」  
講師：OT 佐藤<sup>友</sup> 村田
  - 3) 「生活機能評価：ADL・IADL のアセスメントと生活機能向上支援プログラム」  
講師：PT 佐藤<sup>周</sup> 日高
  - 4) 「生活機能評価：ADL・IADL のアセスメントと生活機能向上支援プログラム」  
講師：DH 三宮



## 2. 平成 28 年度実施事業の詳細

### (1) 第 26 回三者会議

日 時：平成 28 年 4 月 27 日（水）

場 所：大分市井野辺病院 4 階 第 1 会議室

（平成 28 年熊本地震での湯布院病院被災により上記会場にて緊急開催）

出席者：県健康づくり支援課より藤内修二課長、藤本紀代美参事、島川雄司主幹  
広域支援センター代表者

主な議題：県リハセンター並びに広域支援センターの H27 年度活動報告（書面）

県リハセンター並びに広域支援センターの H28 年度活動計画（書面）

熊本地震における災害時リハビリ支援体制の構築について

### (2) 第 14 回拡大運営会議

日 時：平成 28 年 5 月 17 日（火）

場 所：JCHO 湯布院病院保健学習棟 3F 研修室

出席者：県健康づくり支援課より藤本紀代美参事、島川雄司主幹

県高齢者福祉課より笹原良宣参事、阿部幸平主事

関係団体代表者

主な議題：H27 年度県リハセンター並びに広域支援センターの事業報告

H28 年度県リハセンター並びに広域支援センター事業計画

県の進める健康増進計画と地域包括ケア推進について

地域リハ活動の普及に向けた各職能団体の取り組み等の報告及び提出議題の検討

大分県における災害リハビリ支援体制について（報告）

### (3) 第 13 回合同研修会（大分県地域リハビリテーション研究会共催）

日 時：平成 28 年 7 月 10 日（日）

場 所：ビーコンプラザ 3 階 国際会議場

内 容：

#### 1. 「H27 年度地域リハビリテーション活動報告と H28 年度の事業計画」

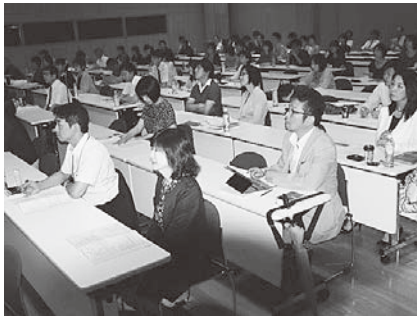
報告者：県リハセンターより県リハの報告及び各広域支援センターのまとめ  
大分県福祉保健部健康づくり支援課・高齢者福祉課の事業説明

#### 2. 講演 1 「大規模災害時における保健医療福祉のコーディネート」

講 師：大分県福祉保健部 参事監兼 健康づくり支援課長 藤内修二氏



3. 講演 2「平時の地域リハ支援体制の構築が災害リハ支援に生きる～茨城県鬼怒川での実践から～」  
 講師：茨城県理学療法士会会長・日本理学療法士協会副会長 齊藤秀之氏



4. シンポジウム「大分県における地域リハビリテーションと災害時の対策～多方面から考える～」  
 シンポジスト

- ①熊本地震の災害リハ支援経験者から 大分岡病院 理学療法士 大塚未来子氏  
 ②災害リハビリテーションコーディネーターの立場から 大分県作業療法協会 副会長 日隈武治氏  
 ③地域包括ケアシステムを基礎とした大分県における災害対策 大分県地域リハビリテーション研究会 会長 武居光雄氏  
 アドバイザー：茨城県理学療法士会 会長 齊藤秀之氏



参加者数：約 140 名

(4) 第 27 回三者会議

日 時：平成 28 年 10 月 31 日（月）  
 場 所：JCHO 湯布院病院保健学習棟 研修室  
 出席者：県健康づくり支援課より藤内課長、島川主幹  
 県高齢者福祉課より笹原参事、阿部主事  
 主な議題：今年度事業の進捗状況報告  
 県からの報告・協議事項について

(5) 大分県地域リハビリテーション研究会 15周年記念講演会（県リハセンター共催）

日 時：平成 29 年 2 月 26 日（日）

場 所：別府ビーコンプラザ 3階 国際会議場

参加数：83 名

内 容：

基調講演 「大分県地域リハビリテーション研究会のあゆみ」

大分県地域リハビリテーション研究会 会長 武居光雄

司会：大分県地域リハ研究会 会長 武居光雄

特別講演 「患者と医療者のコミュニケーションを考える」

講師：NPO 法人ささえあい医療人権センター COML 理事長 山口 育子氏

シンポジウム：「患者と医療者のコミュニケーションを考える」

（一社）大分県医療ソーシャルワーカー協会

ソーシャルワーカー 松尾 美穂氏

「失語症者と専門職とのコミュニケーションを考える」

コミュニケーション・デイサービス 言の葉

言語聴覚士 中村 太一氏

「視能訓練士としての対応～視野や視力の低下からくる生活の不自由さにどう寄り添うか～」

大分視能訓練士会 久保 三枝氏

「特別養護老人ホームにおける医療機関、医師、家族との関わり」

（一社）大分県介護福祉士会

介護福祉士 大場 善弘氏

「患者の自己実現における意思決定支援～訪問看護師として心がけていること～」

社会医療法人 敬和会 大分豊寿苑訪問看護ステーション

緩和ケア認定看護師 稲生 野麦氏

(6) 平成 28 年度地域リハ実践者研修

日 時：平成 28 年 7 月 10 日（日）、8 月 20 日（土）、9 月 10 日（土）

場 所：（1 日目）別府市ビーコンプラザ 国際会議場

（2 日目）JCHO 湯布院病院 保健学習棟 3 階 研修室

（3 日目）大分市ホルトホール 409 号室

2 日目内容：講義

○地域包括ケアにおける各職種のリハ的関わりを学ぶ

講義 1 「地域包括ケアにおけるリハビリテーションについて～これからの地域リハビリの視点～」

講師：大分県リハビリテーション支援センター 運営部長 大隈 和喜

講義 2 「自立支援のための客観的アセスメント～リハ職派遣事業の実践を通して～」

講師：臼杵市医師会立コスモス病院 理学療法士 竹村 仁氏

講義 3 「介護福祉士による自立支援への関わり」

講師：JCHO 湯布院病院 介護福祉士 大久保 隆氏

#### 講義4「自立支援に向けた福祉用具の選定の仕方」

講師：JCHO 湯布院病院 作業療法士 佐藤 友美氏

申込み受講者：36名中 参加者：46名（当日追加受講者、関係者含む）



【2日目 研修会の様子】

3日目内容：講義、総合討論

○地域包括ケアの実現に向けての連携のあり方を学ぶ

講義5「地域ケア会議、ファシリテーターとしての役割」

講師：杵築市役所福祉推進課課長 江藤 修氏

講義6「地域ケア会議、助言者としての関わり」

講師：井野辺病院 作業療法士 佐藤 暁氏

総合討論

テーマ：「自立支援に向けた関わり方」

目的：各職種、各施設での自立支援に向けた関わり方の整理を行い、他職種、他施設の自立支援に向けた関わり方を知り、連携が円滑に行えるようになる。

方法：ワールドカフェ方式

ラウンド1：自立支援に向けた関わり方の現状と課題について討論する。

ラウンド2：他施設、他職種の自立支援に向けた関わり方を把握する。

ラウンド3：1、2で議論した内容を踏まえ、今後各人が自立支援に向けた取り組みとして連携できることを検討する。

受講者：20名（2名欠席）

#### (7) 第8回 実務者会議

日時：平成28年12月12日（月）

場所：JCHO 湯布院病院保健学習棟 研修室

出席者：県健康づくり支援課より藤本紀代美参事、島川雄司主幹

県高齢者福祉課より阿部幸平主事

主な議題：平成29年度県の事業計画

県リハセンターの事業（年間計画案・予算案）

広域支援センターの活動計画案・予算案

### 3. 大分県における災害リハビリテーション支援体制の構築と実績報告

平成 28 年度の大分県における地域リハビリテーションの大きな変化として、災害リハビリテーション支援体制を整備し、JRAT<sup>1)</sup> と連携した形で組織化したことが挙げられる。同年 4 月に起きた熊本地震を契機に加速度的に整備を行い、南阿蘇村での支援に至った。本項では、大分災害リハビリテーション推進協議会（大分 JRAT）発足までの経緯と運営、研修会等の実施状況、及び来年度の事業計画について報告する。

#### 【大分災害リハビリテーション推進協議会発足までの経緯】

大分県リハビリテーション支援センター（以下県リハセンター）では、地域リハの重要課題に災害リハを挙げ、平成 27 年 1 月に災害リハビリテーションコーディネーター<sup>2)</sup>（以下災害リハコーディネーター）とともに初回の災害リハに関する検討会議を行った。そして、平成 28 年度に災害に備えた組織を構築することを事業計画に挙げていた。ところが、平成 28 年度を迎えた矢先に熊本地震が起き、熊本県へ支援を行う為の体制作りが急務となった。一方で、同時に大分県においても、別府・湯布院が被災し、県リハセンターを担う湯布院病院自体が被災した。事務局機能が一時停止したため、初動が遅れる結果となった。しかし、湯布院町内の災害リハ支援に県リハセンターが活動したことは申し添えておく。

以上の背景の下、災害時に大分県のリハ専門職が組織的に活動するための機関を設立に向け、下記の日程で検討を重ね、5 月 2 日に大分災害リハビリテーション推進協議会（大分 JRAT）の設立に至った。

注：1) JRAT：大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会

2) 災害リハビリテーションコーディネーター：JRAT 主催の災害リハコーディネーター養成研修を修了した者を指す。大分県内に 6 名登録（平成 29 年 3 月現在）。

#### 【大分 JRAT の組織化に向けた検討会議】

##### 1. 第 1 回検討会議

平成 28 年 1 月 27 日（水）

場所：ホルトホール大分

参加者：大分県災害リハコーディネーター 6 名 県リハ 5 名

検討事項：県リハセンターと災害コーディネーターの初顔合わせ、情報共有、今後の計画

##### 2. 第 2 回緊急検討会議（緊急三者会議）

日時：平成 28 年 4 月 27 日（水）14：00～

場所：井野辺病院

参加者：大分県 広域支援センター（11 広域） 県リハ支援センター 災害リハコーディネーター

検討事項：「大分 JRAT」の立ち上げを行うこと、代表は県リハが行うこと等

##### 3. 第 3 回緊急検討会議

平成 28 年 5 月 2 日（月）18：30～

場所：井野辺病院

参加者：大分県 大分県病院協会 大分県地域リハ研究会 大分県回復期リハ病棟連絡協議会

大分県理学療法士協会 大分県作業療法協会 大分県言語聴覚士協会



大分県介護支援専門員協会 広域支援センター（井野辺病院・大分岡病院・別府リハ）  
県リハ支援センター

検討事項：「大分 JRAT」の設立の承認

4. PT・OT・ST 協会との災害リハ支援活動時の人材派遣等についての検討会（1回）

平成 28 年 5 月 18 日（水）19：00～

場所：大分県作業療法協会ビル

参加者：大分県理学療法士協会・作業療法協会・言語聴覚士協会 県リハ支援センター

検討事項：支援活動メンバーの登録方法等

【大分 JRAT：南阿蘇村での支援活動】

5 月 6 日 JRAT 本部より大分 JRAT に対し、5 月 8 日～15 日（計 8 日間）南阿蘇村への派遣要請が入る。

5 月 8 日 第 1 陣 岡病院・県リハセンター合同チームを派遣

構成メンバー：井上 Dr ○田中（PT）大田（OT）首藤（PT）

5 月 11 日 第 2 陣 岡病院・井野辺病院・県リハセンター合同チームを派遣

構成メンバー：井野辺 Dr. ○岸本（OT）池田（PT）帆足（PT）

○大塚（PT）郷司（OT）城（OT）

※○はチームリーダー 敬称略

活動内容：避難所に滞在する被災者への生活不活発病及びエコノミークラス症候群予防の  
普及啓発、運動機会の提供を通じた災害関連死の予防

5 月 15 日 大分 JRAT 撤収

南阿蘇村における JRAT の支援は終了



第 1 陣メンバー  
支援活動を終え、湯布院到着時に撮影



第 2 陣メンバー  
南阿蘇西小学校避難所にて

【大分 JRAT 災害リハビリテーション研修会】

1. 大分 JRAT 設立式並びに災害リハ支援派遣者研修会

実施日：平成 28 年 6 月 4 日（土）13：30～16：30（受付 13 時～）

設立記念講演：「災害におけるリハビリテーションの重要性と JRAT の紹介」

講師：日本リハビリテーション病院・施設協会 会長

大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会

JRAT（Japan Rehabilitation Assistance Team）代表

リハビリ関連団体協議会 代表 栗原 正紀氏

/長崎リハビリテーション病院 院長

会 場：大分市男女共同参画プラザ アイネス 大会議室

対象者：災害時のリハビリテーション支援に関する団体、個人の専門職

受講者：136名



【栗原正紀 JRAT 代表の特別講演】

## 2. 大分 JRAT 第2回災害リハ支援研修会

実施日：平成29年3月4日（土） 9：30～12：30（受付9時～）

講演1 「大分にも津波がきた！～南海トラフ地震と別府湾地震～」

講 師：日出町歴史資料館・帆足萬里記念館 平井 義人氏

講演2 「災害急性期から避難所、仮設住宅に至る支援対策

～重要なこと・気をつけること～」

講 師：神戸赤十字病院 心療内科 医師 村上 典子氏

会 場：別府ビーコンプラザ 中会議室

対象者：災害時のリハビリテーション支援に関する関係職種

受講者：60名



【日出町歴史資料館 平井 義人氏】



【神戸赤十字病院 村上 典子氏】

\*第1回、第2回共に世話人会を同時開催

### 【大分 JRAT 事務局活動】

#### 1. 災害リハコーディネーターとの事務局会議（3回）

日時：平成28年9月13日（火） 場所：ホルトホール大分

平成28年12月20日（火） 場所：湯布院病院

平成 29 年 2 月 28 日（火） 場所：湯布院病院

内容：大分 JRAT 組織運営、ならびに災害リハ研修の検討等

2. 大分県との災害時における被災者の医療救護に関する協定締結への準備

1) 大分県との協定内容検討会

日時：平成 29 年 2 月 28 日（火） 場所：大分県庁健康づくり支援課

2) 上記協定の締結に向けた資料作成等

**【平成 29 年度事業計画】**

大分県と大分 JRAT の協定を締結し、県行政と一体となった支援活動が行える組織作りを進めていく。また有事に備え、JRAT 本部、九州各県の JRAT との連携を深めていく。

1. 災害リハビリテーションの教育・普及・啓発

・災害リハビリテーションに関する研修の実施（年 2 回）

1) ベーシック研修

2) ロジスティック研修

2. 災害対応のための組織化

・大分県との災害時における被災者の医療救護に関する協定締結

・災害リハ支援チームメンバー登録の推進

・大分県における防災訓練への参加協力等

・JRAT 本部、九州各県の JRAT との連携

・県内関係団体との連絡調整

3. 直接支援活動

## 4. おおいた食のリハビリテーション研究会 活動報告

本研究会は平成18年12月3日に発足し、平成28年6月現在での会員数は286名である。主な活動は年に2回の研修会と大分県社会福祉介護研修センターとの共催で実施している摂食・嚥下セミナーがある。また、おおいた食リハニュースを年数回発行している。

### <本年度研究会活動報告>

おおいた食のリハビリテーション研究会 総会・第19回研修会

日 時：平成28年7月17日（日）

場 所：大分県社会福祉介護研修センター

9：00～受付

9：30～総会

10：00～研究報告・事例検討会

①「食べたいを叶えたい～誤嚥性肺炎を繰り返す長期臥床状態の方へのアプローチ」

明和記念病院 言語聴覚士 吉田玲子氏

②③「豊後高田市社会福祉協議会における介護予防事業の取り組みを通して」

豊後高田市社会福祉協議会 歯科衛生士 甲斐千智氏・管理栄養士 内田紫乃氏

④「上咽頭がんの放射線治療を既往に持ち、舌がん再発後に経口摂取を断念させられた1例

～経過と経口摂取に向けた取り組み～」 JCHO湯布院病院 言語聴覚士 木村暢夫氏

⑤「口から食べる～PEGから経口摂取へ」

介護保険総合福祉センターメルヘン 管理栄養士 濱田美紀氏

⑥「医療と介護の連携～喀痰吸引と鼻腔栄養を通して」

介護福祉士会 大場喜弘氏

12：00～終了

### 第10回摂食・嚥下セミナー（共催 大分県社会福祉介護研修センター）

目 的：人間の活力の源である「食事」は、おいしく口から食べるという楽しさだけではなく、脳を刺激し生きる喜びにも繋がります。しかし、病院や施設、在宅では「食」に関する何らかの問題を抱えている方は数多く、多職種協働のケアにおいては大きな課題となっています。そこで、摂食・嚥下機能の専門家による知識と技術を学んでいただき、チームとして質の高い支援を提供できる人材を育成するために開催しています。

日 時：1日目 6月23日（木） 開講式、嚥下障害への対応と支援、摂食嚥下障害患者の支援

2日目 7月1日（金） 摂食嚥下障害概説、摂食嚥下障害の評価

3日目 7月24日（日） 摂食嚥下リハ（間接・直接訓練）、口腔について

4日目 8月7日（日） 栄養管理について、経口摂取確立のための姿勢・摂食へのアシスト、お口のリハレク

5日目 8月9日（火）・8月10日（水） 調理実習、食べる喜びを支援する食事の介助

6日目 9月9日（金） 認知症・高次脳機能障害者への食事支援、摂食・嚥下リハビリテーションⅡ

7日目 9月16日（金） 事例検討・事例報告・終了式

※5日目の実習は2班編成に分かれています。

対象者：介護福祉士、ホームヘルパー、看護師、言語聴覚士、理学療法士、作業療法士、栄養士、  
歯科衛生士、調理員等

会 場：大分県社会福祉介護研修センター 小ホール

共 催：大分県社会福祉介護研修センター、おおいた食のリハビリテーション研究会

おおいた食のリハビリテーション研究会 第20回 研修会・10周年記念祝賀会

日 時：平成29年3月19日（日）

場 所：レンブラントホテル

9：00～受付

9：40～講演①「認知症の方への食事支援～考え方と手法～」

日本大学歯学部歯学科摂食機能療法学講座 教授 植田耕一郎先生

11：00～講演②「超高齢社会における歯科医療の役割～安心して食べられる口づくりのために～」

こうすけデンタルクリニック 理事長 山口康介先生

12：30～設立10周年記念祝賀会



写真①：第10回摂食嚥下セミナーの様子



写真②：10周年記念祝賀会の様子

広報誌「おおいた食リハニュース」発行

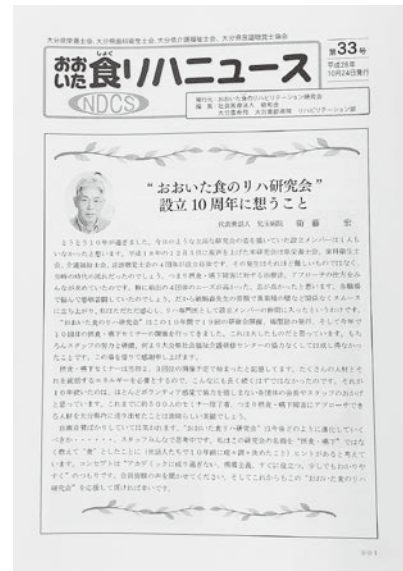
○第 32 号 平成 28 年 6 月 15 日発行

特集：第 18 回研修会

コラム：若林秀隆先生の講演

様々な視点で食事や口腔ケアを考える

大分東部病院 歯科衛生士 眞倉久仁子氏



○巻 33 号 平成 28 年 10 月 24 日発行

特集：① “おおいた食のりハ研究会” 設立 10 周年に想うこと

代表世話人 児玉病院 衛藤宏氏

②第 19 回研修会・総会

③熊本・大分県地震被災地支援活動の報告

